



多くの参拝客が見守る中、2人の射手が交互に3回ずつ的を狙う。



出走の前の神事に向かう様子。神輿の奉納なども行われる。



馬が駆ける道のお祓いをするのは、地元の子どもが担う。

500年近く続く
日置の秋の風物詩

千本楠などパワースポットとしても有名な大汝牟遅神社で行われる、日置市の伝統行事「吹上大汝牟遅神社の流鏝馬」。県内で現存する三つの流鏝馬のうちの一つです。天文7年(西暦1538年)、島津忠良(日新公)が加世田城を攻める際に、戦勝を祈願して流鏝馬の奉納を誓い、その夜のうちに攻略がなかったことから、毎

年奉納されるようになったと言われています。

射手は直線で200メートルの道を馬で駆けながら、40メートル間隔に置かれた的に向けて矢を放ちます。その姿は迫力満点で、的中すると参拝客から歓声が上がります。的の破片は魔除けとして参拝客が持ち帰ります。現在では五穀豊穣に感謝する秋の恒例行事として、保存会の人々により大切に受け継がれています。



【日置市】
吹上大汝牟遅神社の
流鏝馬

県指定無形民俗文化財

大汝牟遅神社で毎年奉納される郷土芸能「吹上大汝牟遅神社の流鏝馬」をご紹介します。

祭りの舞台

大汝牟遅神社

開催日： 毎年11月23日開催
(今年は中止)

住所： 日置市吹上町中原2263

駐車場： あり

TEL： 099-296-2124
(日置市教育委員会 吹上支所 教育振興課)

